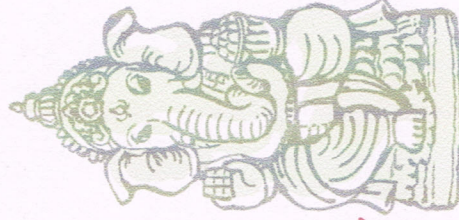


alon



alon

NPO 法人 AlonAlon

組織概要

特定非営利活動法人 AlonAlon
<http://www.alon-alon.org/>
<http://www.facebook.com/kyonan.alonalon/>
Office&Cafe : 〒299-4502
 千葉県いすみ市岬町中原3863-61TaitoStyle
 ☎0470-62-6215

主たる事務所: 〒299-4502
 千葉県いすみ市岬町中原3863-55
 従たる事務所: 〒150-0011
 東京都渋谷区東4-9-18-501

理事長略歴

那部智史	1969年東京生まれ
1991年	3月 城西大学経済学部経済学科卒業
同	4月 大明電話工業株式会社(現 株式会社ミライト 1417 東証1部)入社
2000年	11月 社内ベンチャーとして工事ドットネット株式会社設立 取締役就任
2002年	6月 取締役事業戦略室長就任
2003年	10月 代表取締役社長就任『株式会社アントレプレナー』に社名変更
2008年	3月 株式会社アントレステージ設立 代表取締役就任
2008年	8月 神奈川工科大学 非常勤講師就任
2009年	2月 株式会社フラディオ 代表取締役就任
同	株式会社フリードVC 会長就任
同	9月 産経新聞グループと産経リテールプロモーションLLP設立 プロデューサー就任
2010年	神奈川工科大学非常勤講師以外の役職を全て退任
2013年	千葉県いすみ市にて不動産投資業を開業
同	2月 NPO法人AlonAlon設立 理事長就任
同	5月 障がい者の自立のために所得向上をめざす議員連盟事務局補佐



現地案内図

はじめに

『親が毎週遊びに来るような知的障がい者施設をつくりたい』そんな無謀ともいえる夢を持っております。私には最重度知的障がいを持つひとり息子がおります。

彼の特別支援学校卒業に合わせるように、東京で経営していた会社から全て身を引き、房総半島の太東でアパルトやカフェの経営をしております。

残念ながら私は彼が息を引き取る時に立ち会うことはできません。いでしょう。

彼の将来を確かめるように、沢山の知的障がい者施設を見学しました。

どこの施設も大変な努力をしながら日々のお世話をしております。

しかしながら、どこの施設も私は自分の息子を託す気持ちには最後までなれませんでした。施設の方よりこんなお話をして頂きました。

『入所し始めた頃は毎週のように親類の方が面会に来ていたのに、次第に月に1回、半年に1回、年に1回、ついには何年も面会に来なくなってしまう。なのに入所者は毎日のように、電話きた？と面会申込の有無を聞いてくるのです。』

涙が出てきました。

『子供も親も親類も尊厳を守れる施設をつくらう』

そう思いました。

幸運にも、房総の海を見下ろせる高台に広大な土地を所有している地権者様のご理解を得ることができました。

そして、沢山の人達の協力を得ることができ、プロジェクトは少しずつ前に進み始めております。

『Alon Alon』は私の大好きなバリの言葉で『ゆっくりゆっくり』

焦らずゆっくり進めてまいりたいと思います。

NPO法人AlonAlonのミッション

①親兄弟が毎週遊びに来るような知的障がい者施設をつくる!



千葉県鋸南町にリゾートのような

- ・知的障がい者向けケアホームを建設・運営をいたします
- ・就労継続支援B型事業所を建設・運営をいたします

※2018年までの工事着工を目指します

②障がい者も楽しめるイベントをどんどんやっていく!



- 乗馬クラブと提携し『馬』を通じた知的障がい者の自立支援をも視野にいただいたイベント
- ・障がい者のみならず、その家族にも『癒し』になるようなホースイベントの開催
- ・乗馬だけでなく、『馬の世話』を重要な活動として盛り込む
- ・定期的開催(目標:週1回)において『馬への適性』を判断し個別にプログラムを作成

※第1回AlonAlonホースセラピー:平成24年12月3日 大瀧ステーションにて開催済

③障がい者所得倍増計画を実行する!



非雇用の障がい者の全国平均月収13,079円を100,000円に

- ・AlonAlon Online Shop (<http://www.alon-alon.org/>) 開設
- ・AlonAlonフラワーベースを就労継続支援B型事業所に製作依頼
- ・各地の生花店と提携しAlonAlonフラワーベースを使った花の販売
- ・特例子会社(知的障がい者雇用)への胡蝶蘭栽培指導及び販売
- ・障がい者所得倍増議員連盟発足、事務局に入る

AlonAlonの施設

『我が子を捨てない』障がい者の一生を国任せにしない
子供も親も親類も尊厳を守れる施設

能力開発

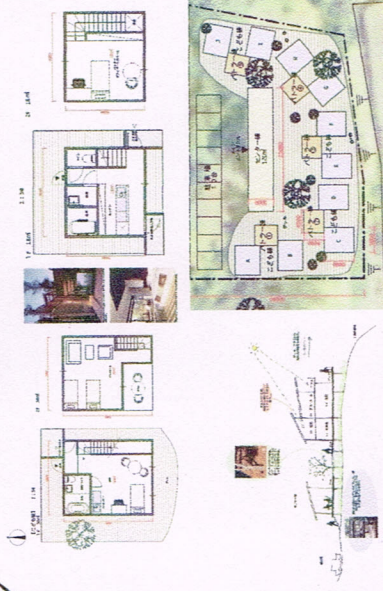


個々の特性に沿った自立支援
芸術の分野への可能性
房総の地の利を生かしたイベント
就労継続支援B型事業所にて様々な自立支援を試みる

- ・工芸品製作
- ・農業
- ・馬の世話
- 等

住 能 託

リゾートのような施設



- ・バリのウブドのコテージ、木造無垢材
- ・湧水を利用した川の流れ
- ・心を癒すハーブの香り、土の匂い
- ・海、山の眺め、建物周辺にはライステラス

財産信託・法律顧問

親の死後、本人の一生を豊かに暮らすための財産管理
信託銀行・大手法律事務所と提携
本人の『お金を使う』楽しみを奪わない

AlonAlonホースセラピー



馬は草食動物特有の濃厚な生き物で、触れたり傍にいらただけで心が穏やかになり、イルカと同様のセラピー効果が得られると考えられています。

筋力維持や集中力向上の効果が期待できる騎乗はもちろん、ブラッシングをしたり、馬房の掃除、餌やり、散歩など馬との様々な関わりにより、障がい者本人にのみならず、その家族にも『癒し』を与えられるようなプログラム作りを行います。

複数の乗馬クラブに障がい者乗馬に適した『自馬』を置き、日常の世話も含めた『馬』との深い関わりをなかで定期的なイベントを行って行く予定です。

現在、AlonAlonホースイベント開催費用捻出のため『AlonAlon Online Shop (<http://www.alon-alon.org/>)にてハーブ製品等の販売及びホースセラピーサポーターを募集しております。
また、大口の法人サポーターの募集も開始いたしました。



OnlineShopの収益は障がい者支援活動に活用されます
AlonAlon Online Shop の商品の多くは一部で提供されている物と並んで、障がい者企業の商品により、その収益を多く仕入れ職者に障がい者の雇用に活用することによって障がい者支援活動に活用させていただきます。

障がい者向けホースセラピー
本馬の馬乗動向、特に馬にはイルカと同等の癒し効果があることが様々な研究によって得られており、前後、左右に揺れ自然に馬の動きに合わせてハリスを取り、この揺れが脳幹を刺激するとともに神経伝達物質(セロトニン)を分泌させます。
実際に多くの障がい者の方の脳幹が刺激されており、AlonAlonは定期的に障がい者ホースセラピーを開催しています。

AlonAlonホースセラピーサポーターを募集しております。ご協力ください。



- TOP
- Online Shop 売れ筋商品
- お花の贈り物
- フレンドハーブティー
- シングルハーブティー
- ティーバックハーブティー
- ハーブ&スライス
- ハーブソルト
- フレンドスライス
- その他食品
- ハーブウォーター
- ホースセラピーサポーター
- AlonAlonへのご寄付



AlonAlonホースセラピーサポーター募集

お支払はクレジットカート又は銀行振込からお支払い頂けます

ホースセラピーサポーター
NPO法人AlonAlonには、障がい者ホースセラピー無償化を目的としてサポーター制度が設けられています。サポーターの皆さまにも定期的に提供される『AlonAlonホースセラピー』にご参加頂けます。
121,000円/月
AlonAlonホースセラピーの安定的開催にご協力をお願い申し上げます。

価格：¥1,000

送料：送料別

※ 有効

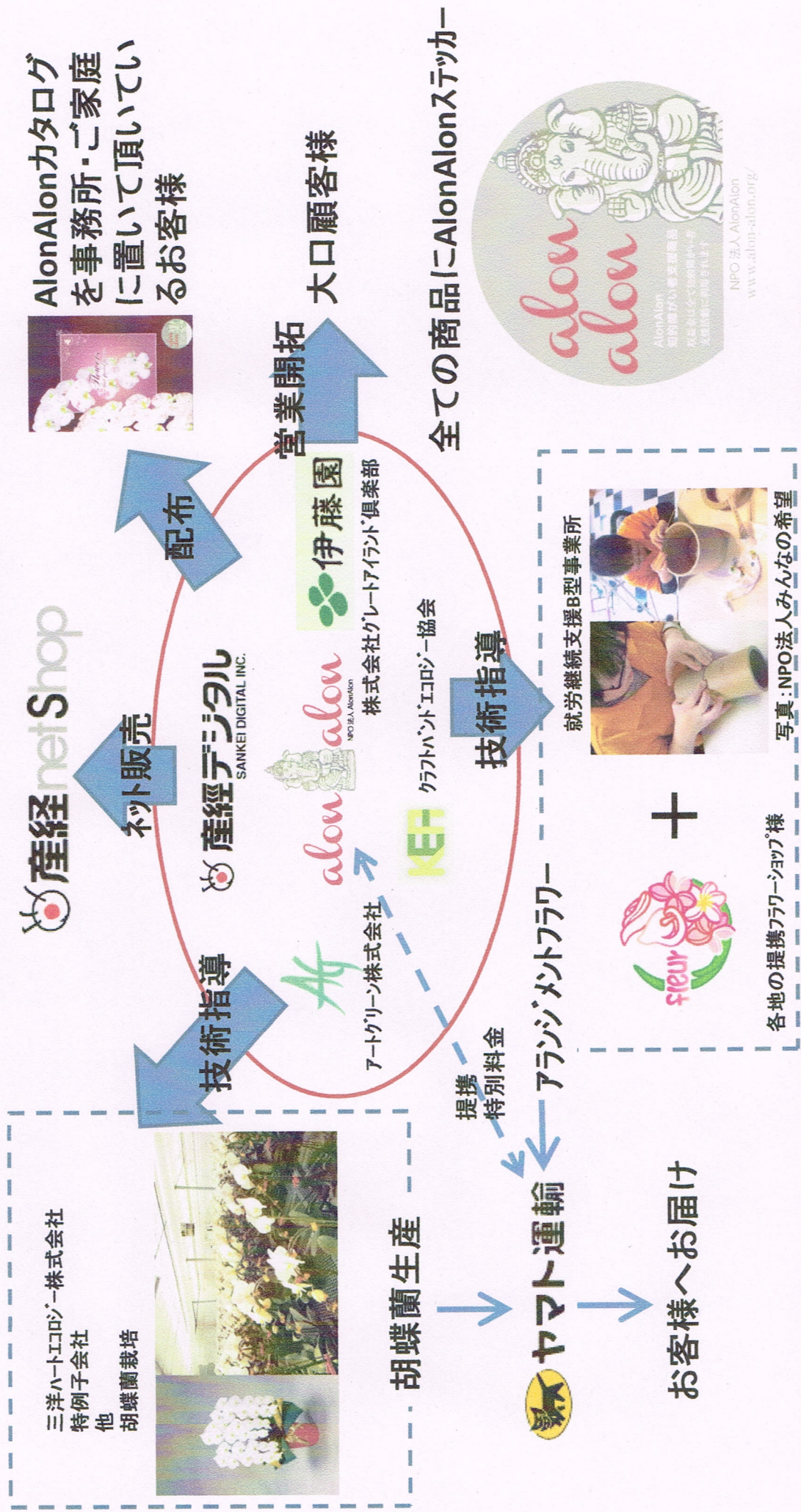
※ 配送期間：1-3日



● 第1回AlonAlonホースセラピー
平成24年12月3日
茨城県稲敷郡阿見町中央4-6-30 大瀧ステーションにて



障がい者所得倍増計画概要図



● AlonAlon フラワー



障がい者の自立のために所得向上をめざす議員連盟(障がい者所得倍増議連)発足

平成25年5月22日設立議員総会



平成25年6月9日現在
議連加盟議員:53名

役員

会長	鴨下一郎(自民)
会長代行	高木美智代(公明)
幹事長	山井和則(民主)
幹事長代行	水落敏栄(自民)
"	中根康浩(民主)
事務局長	藤末健三(民主)
事務局次長	山本博司(公明)
"	桜内文城(維新)
"	山田太郎(みんな)
事務局補佐	那部智史

(NPO法人AlonAlon理事長)

設立趣意書

厚生労働省によると、平成22年度における就労継続支援B型事業所の障がい者一人当たりの平均月収額は13,079円、1日にして僅か653円という計算になります。これは重度障がい者の場合の障害年金と合わせても、10万円にも満たない金額であり、日本国憲法第25条にあるような「健康で文化的な最低限度の生活を営む」ことは非常に難しい状況と言わざるを得ません。

政府としても障がい者が経済的にも自立して生活が出来るようになるよう、平成19年度から23年度にかけて「工賃倍増5か年計画」が実施され、また平成24年度からはより都道府県と事業所が共同して取り組むことを重視した「工賃向上計画」を実施するなどの対策を講じてはいますが、現在のところ十分な成果を上げていないとは言えない状況にあります。

他方、国会においては平成24年6月に「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律(障害者優先調達推進法)」が全会一致で成立するなど、障がい者の自立支援は超党派で取り組むべき課題として考えられています。

そこで、障がい者の自立支援のためには所得の向上が不可欠であるという観点から、有識者との意見交換や就労施設への視察などを通じて現在の障がい者福祉制度や法律の不備による問題点を見つけ出し、障がい者の所得向上に資するような具体的行動を実施する超党派の議員連盟を結成したいと存じます。